



平成30年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月12日

上場会社名 津田駒工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6217 URL <https://www.tsudakoma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高納 伸宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門統括総務部長 (氏名) 松任 宏幸

TEL 076-242-1110

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第1四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第1四半期	8,464	22.2	85		121		120	
29年11月期第1四半期	6,924	31.2	337		414		424	

(注) 包括利益 30年11月期第1四半期 24百万円 (%) 29年11月期第1四半期 44百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第1四半期	1.88	
29年11月期第1四半期	6.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第1四半期	36,370	14,378	36.6
29年11月期	38,358	14,405	34.7

(参考) 自己資本 30年11月期第1四半期 13,297百万円 29年11月期 13,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期		0.00		0.00	0.00
30年11月期					
30年11月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年11月期の期末の配当につきましては、現時点では未定です。
配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	14.3	350	821.1	350		300		4.69
通期	42,000	5.8	1,000	60.8	1,000	180.9	850	364.5	13.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年11月期1Q	68,075,552 株	29年11月期	68,075,552 株
期末自己株式数	30年11月期1Q	4,169,677 株	29年11月期	4,168,543 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年11月期1Q	63,906,425 株	29年11月期1Q	63,910,808 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
(追加情報)	P 8
(セグメント情報等)	P 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、緩やかな回復基調が継続いたしましたものの、欧米の政治面の不安定さや地政学的リスクにより不透明感が広がりました。

こうした中、当企業グループは、黒字体質への転換・定着を目指し、受注・売上の拡大、生産効率・生産能力の向上に注力いたしました。

繊維機械事業では、昨年度後半において、インド市場での新税制導入に伴う混乱により一時的にL/C(信用状)の発行が遅延し受注が減少したことから、当第1四半期の生産・売上に大きく影響いたしました。工作機械関連事業は、国内外の自動車関連の設備投資等により、高い水準での引き合いが継続いたしました。生産能力の拡大が追いつかず、受注・売上は計画を下回りました。

この結果、全体の受注高は11,262百万円(前年同期比12.6%増加)となりました。また、繊維機械事業の落ち込みが影響し、売上高は8,464百万円(前年同期比22.2%増加)にとどまりました。

損益面では、営業損失85百万円(前年同期 営業損失337百万円)、経常損失121百万円(前年同期 経常損失414百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失120百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失424百万円)となりました。

また、繊維機械事業において、過去に出荷した製品の一部部品に国の規制値を超える石綿を含有する素材が使用されていることが判明したことにより、交換、回収に備えるため、当第1四半期において製品保証引当金21百万円を計上しております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(繊維機械事業)

繊維機械事業では、インド市場は引き続き設備投資意欲が高く、活発な商談が続いております。今期に入り、昨年度後半の新税制導入に伴う混乱、L/C発行の遅延は概ね収束し、受注は回復傾向にあります。また、中国市場は、排水規制の強化に伴い、省エネ・省水性能が高い当社ウォータージェットルームの受注が堅調に推移いたしました。また、当社の中国子会社であります津田駒機械製造(常熟)有限公司の受注も増加いたしました。台湾市場では、スポーツ衣料を中心に需要が増加していることから、国外投資案件の引合いが継続しております。

この結果、受注高は9,318百万円(前年同期比15.7%増加)となりました。

一方、生産・売上面では、中国向けは堅調に推移したものの、インド向けの減少に伴い、売上高は6,479百万円(前年同期比30.8%増加)にとどまり、営業利益は88百万円(前年同期 営業損失192百万円)となりました。

(工作機械関連事業)

工作機械関連事業は、国内外の自動車関連向けの需要に加え、産業の効率化を進める中国市場の需要も急拡大していることから、高水準での引き合いが継続しました。このような状況に対し、当社は全社を挙げての作業応援や作業効率の改善活動、設備投資など、生産能力の拡大に取り組み、受注・売上の拡大を図りました。一方で、成約案件が急激に膨らむ中、生産負荷が大きい特注製品の受注が増加いたしましたことや、使用部品の長納期化から、当第1四半期においては、改善の効果を業績に十分に反映させるには至りませんでした。この結果、受注高は1,943百万円(前年同期比0.4%減少)、売上高は1,985百万円(同比0.7%増加)にとどまり、営業利益は160百万円(同比15.9%増加)となりました。今後も引き続き生産能力の拡大に取り組んでまいります。

また、2018年1月より、当企業グループの高度な製品・技術を活かし、お客様の生産効率化のため、ロボット等の導入に伴う様々なシステム設計をワンストップで総合的に提供する、ロボットシステムインテグレーション事業を開始しました。今後の拡大を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,988百万円減少し36,370百万円となりました。主な増減は、売上高が減少し営業債権が減少したこと等によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ1,961百万円減少し21,992百万円となりました。主な増減は、生産が減少し仕入債務が減少したこと等によるものであります。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失120百万円を計上したこと等により前連結会計年度末に比べ26百万円減少の14,378百万円となり、自己資本比率は36.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

繊維機械事業は、インドの新税制導入に伴う混乱は概ね収まり、受注が回復してきていることから、第2四半期以降は堅調に推移すると見込んでおります。中国市場もウォータージェットルームを中心に堅調に推移しております。また、台湾、バングラデシュ、ベトナム、トルコ等の他市場においても需要の掘り起こしに努め、利益の拡大を図ってまいります。

工作機械関連事業は、今後も高水準の受注が続くと見込まれ、生産体制を強化し、生産効率・生産能力の拡大により、売上・利益の増大を図ってまいります。

連結業績予想に関しましては、従来の予想を据え置き、売上高42,000百万円、営業利益1,000百万円、経常利益1,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益850百万円といたします。

なお、平成30年3月22日（織機におけるアスベスト含有部品の使用の判明及び特別調査委員会設置に関するお知らせ）に開示いたしましたとおり、当社の織機の部品に使用されているライニング素材について、一部に国の規制値を超える石綿を含有する素材が使用されていることが判明いたしました。これを受けて、当社は、企業法務に豊富な経験を有する弁護士及び社外取締役が委員として参画する特別調査委員会を設置し、原因の究明及び再発防止策の提言をいただくこととしております。

このような事態が発生しましたことは誠に遺憾であり、株主、投資家、市場関係者の皆様、お取引先その他すべてのステークホルダーの皆様にご心配とご迷惑をおかけすることになりましたことを謹んでお詫び申し上げます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,503	6,551
受取手形及び売掛金	12,241	10,484
製品	1,832	1,970
仕掛品	2,549	2,831
原材料及び貯蔵品	1,192	1,239
その他	1,356	669
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	25,665	23,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,200	3,143
機械装置及び運搬具(純額)	2,239	2,209
土地	3,826	3,826
建設仮勘定	12	17
その他(純額)	243	256
有形固定資産合計	9,522	9,453
無形固定資産	135	131
投資その他の資産		
投資有価証券	2,667	2,678
その他	791	793
貸倒引当金	△422	△422
投資その他の資産合計	3,035	3,049
固定資産合計	12,693	12,634
資産合計	38,358	36,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,916	3,300
短期借入金	7,090	6,968
未払法人税等	141	42
賞与引当金	—	457
受注損失引当金	—	5
製品保証引当金	—	21
未払金	5,091	4,195
その他	2,252	1,569
流動負債合計	18,491	16,561
固定負債		
長期借入金	49	40
役員退職慰労引当金	17	17
退職給付に係る負債	5,159	5,130
その他	235	242
固定負債合計	5,461	5,430
負債合計	23,953	21,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,316	12,316
資本剰余金	3,880	1,655
利益剰余金	△2,187	△83
自己株式	△1,239	△1,239
株主資本合計	12,770	12,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533	549
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	388	429
退職給付に係る調整累計額	△370	△330
その他の包括利益累計額合計	550	648
非支配株主持分	1,085	1,081
純資産合計	14,405	14,378
負債純資産合計	38,358	36,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)
売上高	6,924	8,464
売上原価	6,083	7,193
売上総利益	840	1,270
販売費及び一般管理費	1,177	1,355
営業損失(△)	△337	△85
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	9
その他	21	15
営業外収益合計	32	25
営業外費用		
支払利息	17	18
持分法による投資損失	44	17
為替差損	44	21
その他	3	3
営業外費用合計	109	61
経常損失(△)	△414	△121
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△415	△121
法人税、住民税及び事業税	4	5
法人税等調整額	5	△5
法人税等合計	9	0
四半期純損失(△)	△425	△121
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△424	△120

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)
四半期純損失(△)	△425	△121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	15
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	138	35
退職給付に係る調整額	45	40
持分法適用会社に対する持分相当額	57	5
その他の包括利益合計	381	97
四半期包括利益	△44	△24
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年2月23日開催の第107期定時株主総会の決議により、平成30年2月23日付で、資本準備金を2,600百万円減少し、その同額をその他資本剰余金に振り替えております。また、振り替えたその他資本剰余金のうち、2,224百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行なっております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,655百万円、利益剰余金がマイナス83百万円となっております。

(追加情報)

(製品保証引当金)

当社の繊維機械事業において過去に出荷した製品について一部部品に規制値を超える石綿を含有する素材が使用されていることが判明し、交換、回収処置が必要となったため、これに備えるため、当社の負担見込み額を製品保証引当金として計上しております。なお、当案件に関する負担見込み額は、現時点で合理的な見積もりが可能な範囲における見積もり額を計上し、当第1四半期連結会計期間末の残高は21百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	4,952	1,971	6,924	—	6,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108	—	108	△108	—
計	5,061	1,971	7,033	△108	6,924
セグメント利益又は損失(△)	△192	138	△53	△283	△337

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△283百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
売上高					
外部顧客への売上高	6,479	1,985	8,464	—	8,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116	—	116	△116	—
計	6,596	1,985	8,581	△116	8,464
セグメント利益又は損失(△)	88	160	248	△333	△85

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△333百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。